

受入団体名: **研究部衣笠リサーチオフィス**

募集人数

プロジェクト/団体プログラム名:

**8名**

キャンパス漢字文化普及プログラム

<活動期間: 2025年10月7日~ 2025年12月9日 活動日数:9日程度>

<活動日or 活動パターン>

■週1日程度・定例、□月1~2回・不定期 □その他

<主な活動場所>

衣笠C

OIC(11/2のみ)

<キャンパスからの交通手段>

OIC JR茨木

<活動の流れ>

<活動に必要な費用>

無料 ※11/2は交通費を支給します

日時	活動内容
10/7(火)	構想の説明。「漢字探検隊」活動、および福島県喜多方市「漢字で町おこし」の解説。
10/14(火)	OIC Global Week、衣笠学園祭出展基本構想説明。
10/21(火)	OIC Global Week準備
11/2(日)	OIC Global Week 出展。来場者対応。
11/4(火)	OIC Global Week 振り返り
11/11(火)	衣笠学園祭の仕掛けの検討・準備
11/25(火)	衣笠学園祭の仕掛けの検討・準備
12/7(日)	衣笠学園祭出展。来場者対応。
12/9(火)	衣笠学園祭振り返り。報告会発表準備。

<参加の姿勢>

クリエイティブな姿勢で授業に臨んでください

<コミュニケーションの手段>

■電子メール

■LINE

■電話

□その他( )

## <活動のテーマと主な内容>

# 皆の笑顔のためにキャンパスを漢字でいっぱいにする

みなさんは、漢字が好きですか。小学校1、2年生の時には漢字を知ることが楽しみだったものの、だんだん漢字が嫌になってきた人も少なくないと思います。漢字はただの記号ではなく、自然や文化、思想のありさまを形にしたものなのです。衣笠キャンパスの入り口8カ所の門に、門の名称とその由来、漢字の解説が書かれた銘板が、そして東側広場の池と花壇の3カ所に漢字の成り立ちを説明した札があるのをあるのをご存じでしょうか。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所(白川研)では、文化勲章受章者・白川静先生の研究をもとに「漢字が身近な存在であることを思い出す」活動をしています。キャンパスの様々なものが漢字の成り立ちと結びつき、それはキャンパスの歴史とも密接に結びついています。白川研は、漢字をテーマとした展示・体験イベントも行っています。毎回たくさんの方が訪れ、家族で楽しまれています。11月にはOICで開催の「Ritsumeikan Global Week」に、12月には衣笠キャンパスで開催の「学園祭」に出展します。皆さんには漢字イベントを楽しまれている姿を見ていただけたらと思います。一緒に漢字を楽しみましょう

## <活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

白川研では、衣笠キャンパスで上記「門名称銘板の設置」やオープンキャンパスでの「古代文字ラリー」、YouTubeでの「古代文字ダンス」、漢字成り立ちソング「おしえて 漢字くん！」の制作などを行ってきました。しかしその見せ方は十分なものではありません。キャンパスの主演である学生のみならず、そして市民のみならずに興味をもって漢字や立命館の歴史を知っていただけるきっかけを創っていきたいと思います。皆さんの感性やアイデアで、より魅力的な「しかけ」を作っていくことを願っています。

## <学生が期待できる学び>

漢字に関する知識が得られるだけでなく、皆さんのアイデアが形になってキャンパスの歴史に残ります。漢字や言葉、現代史が好きな方はもちろん、子どもが好きな方、教職や社会福祉、デザインやエンタメ企画に興味をもっている方の受講も歓迎します

# <活動紹介>



漢字成り立ちソング「おしえて 漢字くん！」  
You Tubeで公開中。うた:立命館小学校合唱部



ASIA Week202「漢字探検隊」ブース(2024年10月)で活躍する  
2024年度受講学生「チーム口」の皆さん



門名称銘板「東門」ほか  
衣笠キャンパス内に合計8か所  
設置しています。



「第20回草津漢字探検隊」2024年12月BKCの学園祭にブース出展。  
BKCの学生とのコラボも。600人の来場者で終始賑わいました。



2023年度受講学生「チーム口」の企画による  
「立命館大学生からのちょうせんじょう  
これ何だ」2023年12月 立命館小学校